



FUTURE IS NOW.
未来は今。

情報化が進んだ現代社会。
そしてこれからは
インターネットや人工知能がさらに進化し、
仮想空間と現実空間が
高度に融合した人間中心の社会
になるといわれています。

そんな不透明な

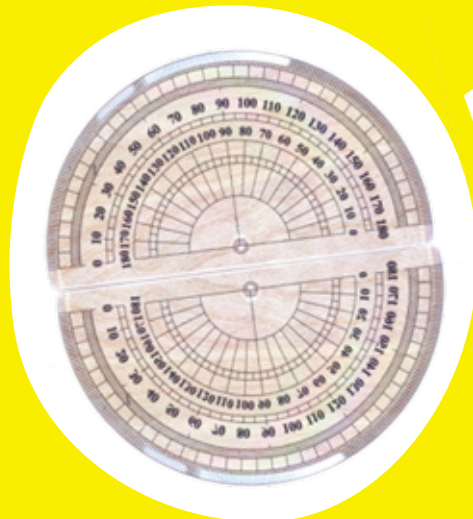
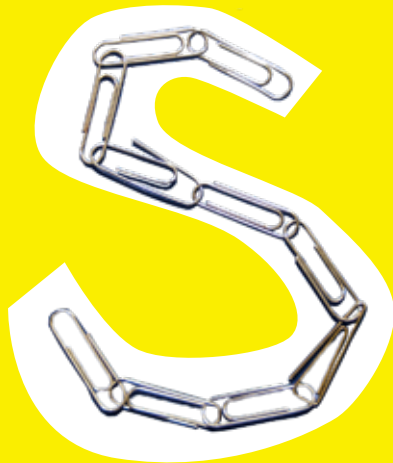
“未来”

を生きていく力を
子どもたちに教え育むのは

“今”

なのです。

新しい時代に備え、
今まさに教育が変わろうとしています。
そんな未来の教育についてご紹介します。



未来の教育、GIGA スクール。

教育の新しいスタンダードとして国が推進しているのが「GIGA スクール構想」です。GIGA とは「今月はあと1ギガしかデータ使えない」や「32ギガバイトのメモリーカード」などの文脈で使われるギガとは違います。

GIGA は Global and Innovation Gateway for All の略。
直訳すると「すべての子供たちにグローバルやイノベーションの入口を」となります。

この「GIGA スクール構想」の土台となるのは次の2つです。

1つは全国の学校で整備される高速で大容量のネットワーク通信。

全教室で全児童・生徒がインターネットに接続することを想定し、インターネット環境が整備されます。

もう1つは、全児童・生徒に1人1台のコンピュータ端末を整備することです。

「GIGA スクール構想」ではこの2つを一体的に整備することで、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に、そして一人一人に一番いい形でそれぞれの創造性を育んでいく教育ICT環境を実現しようとしています。

全国の学校現場で実現に向けて整備が進められている「GIGA スクール構想」。

阿蘇市では平成30年度からタブレットの導入を進め、今年3月までに市内の全小中学校で高速大容量のネットワーク通信と1人1台のタブレット端末の整備が完了しました。

4月からいよいよタブレット端末を用いた授業が本格的にスタートします。

先生たちも働き方改革。

学校現場にインターネット環境を整備することで、先生たちの業務改善も期待されます。

さまざまな情報の集約・共有が容易になることで、先生たちの日常の業務が改善され、児童・生徒に対応する時間や授業の質を高める時間にあてることもできるようになると考えられます。

一人一人にあった学習環境。

タブレット端末を利用することにより、一人一人が自分自身の学習計画を達成するうえで、それぞれにとってもっとも望ましい学習環境を整えることができます。

例えば、授業中、先生が児童・生徒のタブレット端末の画面を見ることができます。これにより理解が不足している児童・生徒を先生がすぐに把握することができ、その児童・生徒に合わせた指導などもできるようになります。

このように、各個人に合わせたきめ細かな教育が可能になります。

読み書きそろばん、 データ、デジタル。

これからさらに進む情報化社会。

これまでの読み書きそろばんに加えて、データやデジタルについての基礎的な力が求められるようになります。

タブレットを日頃の授業から使用することで、これらの力を身につけることができます。

令和2年度からはプログラミング教育も必修化されました。これはプログラミングの技術を身につけることだけでなく、論理的な思考力を養うことを目的としています。

1人1台のタブレット端末の整備によりプログラミング教育にも役立つことが期待されます。

どんな授業やってるの？

一の宮小では、タブレット端末を用いた教育が一足先に導入されています。

一の宮小の5年生の教室にお邪魔して、実際の授業の様子を見せてもらいました。



お邪魔したのは5年生の英語の授業。電子黒板を使った、発音や聞き取りの練習から始まりました。電子黒板に流れる映像を見ながら英語の歌を歌います。英語のリズムに慣れたら聞き取りの練習。英語の映像から聞き取った内容を発表します。国際化の進展に対応するため令和2年度から小学校高学年での英語教育が必修となりました。



JUGYO NO 2
2nd year



自分にとってのヒーローを英語で発表することに。そのための資料づくりをタブレット端末で行います。インターネットで検索するなどして材料を集め、専用アプリでプレゼンテーションを作成していきます。タッチパネルで直感的な操作が可能のため、スムーズに作業が進みます。

作った資料をタブレット端末で見せながら発表です。タブレット端末のおかげで視覚的にもわかりやすい発表ができました。資料を見せながら英語で相手に伝える、一昔前なら考えられないことです。英語の能力だけでなく、人に伝える力を養うことができます。



JUGYO NO
4
75NOH



英語の次は、タブレットに内蔵されているアプリで自主学習です。
これまで紙の問題集で行っていたようなことをタブレット端末で行うことができます。
よく間違える問題などを繰り返し取り組んだり、それぞれのレベルにあわせた難易度の問題
に取り組んだりしていました。



JUGYO NO
5
75NOH

授業が終わったらタブレットは保管庫に。
それぞれ置く場所が決められており、端子を差し
込んで充電を行います。



JUGYO NO
6
75NOH

休み時間の楽しそうな風景はこれまでと変わり
ません。

実際どうなの？インタビュー。



甲斐 陽斗さん

“

タブレットを使って
発表すると
わかりやすかったです

”



宮本 征貴さん

“

自分のレベルにあった
問題に取り組めて
とてもいいです
授業もわかりやすい
です

”



佐伯 智子先生

タブレット端末を用いると、これまでできな
かったような授業ができます。例えばアサガオ
の観察。成長のようすを写真で記録し、ばら
ばらまんがをアプリで作成することもできます。
タブレット端末と電子黒板でクラスに自分の考
えをすぐに共有できるので話し合いも活発に
なっています。子供たちも目に見えて楽しそう
に授業を受けていますね。

小学生と考える、タブレットのルール。

RULE

阿 蘇テレワークセンターでは市内の小中学校に在籍する児童・生徒を対象に情報モラルに関するポスターを募集しました。タブレット端末を使うときのルールやマナーについてみんなに知ってほしいこと、守ってほしいことをポスターやイラストで表現してもらいました。その中から入選した作品を紹介します。

ルールについて考えよう。

グランプリ

小代 亘 (一の宮小4年)

ぼくも、タブレットなどを使っているとたまたま時間をわすれて、おそくまで使っていることがあったので自分も気をつけないといけないし、みんなにも気をつけてほしいのでこの絵をかきました。



優秀賞 / 阿蘇市教育委員会賞
住 菜々子 (一の宮小5年)

わたしは、いつも時間を守らずに使ってしまい、よくおこられます。その状況をポスターにしました。このポスターを見た人が、今から少しでもタブレットを使う時に約束を守れるといいなと思いました。わたしも約束を守ります。

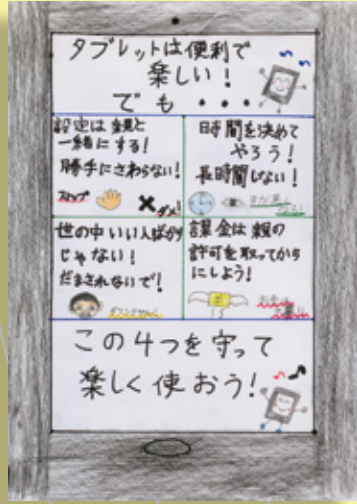


教育を大きく変えるタブレット端末。とても便利で楽しいものです。
一方で、子供たちが犯罪に巻き込まれたり、体へ悪影響を受けたりするリスクも。
タブレット端末を使ううえでのルールをしっかりと守らなければなりません。

主催者賞

古閑 愛華 (一の宮小5年)

私は、タブレットを使うときは、30分と決めて
ています。でも、たまに時間がすぎてしまうこ
とがあります。そうなると目がつかれたり、頭
がいたくなったりするので、“時間は決めてほ
しい”という思いでポスターを書きました



アイデア賞

松田 昇大 (内牧小4年)

タブレットは便利で楽しいけど、
約束を守って使わないといけな
い。正しく使って、色々勉強した
いです。



クリエイター賞

松岡 花奏 (内牧小6年)

タブレットをぬる前に使うことによって、
体内時計が狂うなどの悪えいきょうを知ら
ない人が多い印象があったので、それをポ
スターにしました。これを機に、多くの人
に知ってもらえるといいなと思います。

みんなで見守ろう。

フィルタリングのイメージ

有害サイト

子供に適さない
アプリ

タ ブレット端末は便利な
ものですが、インタ
ネットでのトラブルに巻き
込まれるリスクもあります。
こうしたトラブルや犯罪
から子どもたちを守るため、
市で貸与されるタブレット
端末にはフィルタリングが
設定されています。これは
子供たちが危険なサイトや

アプリに接続できないよう
にするものです。
しかし、フィルタリング
があれば絶対に安全とい
うわけではありません。子
供たちを守るためには各家庭
でルールを決め、保護者を
はじめ、周囲の大人がしっ
かり見守っていくことが必
要です。



敢闘賞

甲斐 まひろ (一の宮小3年)

一人一台のタブレットになるの
で、みんなでルールを守って使っ
ていきたいと思いました。